

平成28年度 地区懇談会（花岡1・2・3・4・5班）の報告

1. 日 時 平成28年11月25日（金） 午前9時30分～11時10分
 2. 場 所 下松市勤労者総合福祉センター 研修室
 3. 参加者 (1班) 4名、(2班) 5名、(3班) 4名、(4班) 7名、(5班) 3名 (合計 23名)
(添付資料 地区懇談会出席者名簿)
 4. 議 題 (1) 下松市シルバー人材センターの概要
(2) 地域班活動の活性化等について意見交換（質疑応答）
 5. 議 事
 - (1) 司会挨拶 (花岡4班 鳴井 衛)
 - (2) 理事長挨拶
下松市シルバー人材センターの近況を説明
 - ・会員の減少・契約金額も減少している。定年制の延長、年金開始年齢65歳が原因で、新規会員の入会が少ない。会員の平均年齢は72歳で今後もこの傾向は続く。
 - ・今後の対応として会員の確保、就業機会の強化に取り組む必要がある。
 - ・地区懇談会の活性化、会員からの情報提供をお願いしたい。
 - (3) 事務局長
今後の行事予定の説明
 - (4) 玉木担当理事が「総務委員会で現在検討中の事項について説明したい」旨発言。
 - ◎ ・28年度の重点目標を会員拡大に絞り遂行することとした。
 - ・会員の減少 H23年度比 81% 就業機会、契約金額の減少
 - ・会員の減少と配分金の総額は比例する。H23年比 配分金78%
 - ・就業した個人の年間収入はほとんど変化がなく、会員が増えることで仕事なくなり収入が減る心配はなし。
 - ・国からの補助金の減少 H20年（35百万）比66%
 - ・受取事務費は受託事業の減少でH20年比（28百万） 66%
 - ◎ (実施した対応)
 - ・事務局では業務の見直しと改善による業務の合理化を進めている。
 - (A) 会員の協力を得て進めた、会員主導の事業運営
 - (B) 事務処理の合理化による1名の減員
 - ◎ (今後予想される事項)
 - ・将来、市の補助金が他の市並みに国と同水準になった場合、さらに状況は厳しくなる。
 - ・今後も事業を継続・発展していくためには、会員の補充・拡大を図ることが大きな課題となっている。従来と同様なPRを行い新規の会員を待っているだけでは限界が見えている。
 - ◎ (会員に提案する事項)
 1. 会員の拡大と就業情報の提供を依頼する。
 - ・入会希望者紹介カードについて
 - ・表彰制度の改定について
 2. 委員会の提案として理事へ説明する。
 - (5) 質疑応答の内容
 - ① ・入会してしばらく、体調を壊して入院したが、健康保険について説明してほしい。
 - ② ・求人広告をどこか見やすい場所に掲示してほしい。
現在の求人・就業・未就業者状況を説明
 - ・求人広告を月1回班長の家へ送付してはどうか。
 - ③ ・地域班の構成はどうなっているか
班長からの変更希望があれば、実情を見て検討する。
 - ・地域毎の地図を作成してほしい。
- ◎懇談会終了後、5人の班長と担当理事2名が討議された事項について確認した。
1. 「会員の拡大」の推進と入会希望者カードの発行
 2. 工作中的の事故の対応について
(提出する診断書と団体任意保険の内容について)
 3. 求人情報の対応について